

## ウガンダ月報(2018年11月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 中国人投資家に対する襲撃事件への対応
- ビクトリア湖における船舶転覆事故

#### 【外政】

- ルワンダ難民の送還
- ムカパ元タンザニア大統領のウガンダ訪問
- ニビジラ・ブルンジ対外関係・国際協力大臣のウガンダ訪問
- ファルマージョ・ソマリア大統領のウガンダ訪問
- タンザニアによるウガンダとの貿易に関する二国間協議の拒否

#### 【経済】

- ウガンダの輸出額の増加
- ウガンダの金の輸出に関する米国系研究団体の報告
- メートル軌間鉄道の補修
- ウガンダにおけるコバルト開発

#### 【経済協力】

- 米国による8県の女性及び子供の栄養プロジェクトへの資金供与
- 石油プロジェクトへの資金供与に関する英国大使発言
- コーヒー及びカカオ増産のためのEUの無償資金供与
- ナムトゥンバ県の農家に対する世銀の資金協力
- 難民受入地域のインフラ支援に対する50百万米ドルの世銀借款

#### 【日・ウガンダ関係】

- 「アタリ流域地域灌漑施設整備計画」交換公文等署名
- 「ワキソ県北部における多目的協同組合(4組合)の能力強化」開幕式

#### 【内政】

- 昨今、暴漢が中国の投資家を襲撃していることに関して、軍最高司令官であるムセベニ大統領は、14日、大統領官邸において120名以上の中国の投資家を前に、「ウガンダは平和を維持するし、あなた方は昨今の共謀された強盗事件や金銭が奪われた際の暴力的な襲撃について心配しなくてよい。」と述べ、警察はあらゆる手段を講じて犯罪者を捜査していると請け合った。(14日及び15日付ニュー・ビジョン紙)
- 24日、ビクトリア湖で船舶転覆事故が発生し、30名以上の犠牲者を出した。これまでにブガンダ王国の王子2名を含む27名が救助されているが、多数の行方不明者がおり、捜索が続けられている。政府は、定員を大幅に超える人数を乗船させ、船の整備を怠ったとして、船舶

の所有者を批判している。(26日及び27日付ニュー・ビジョン紙)

#### 【外政】

- 13日、オネク防災・難民担当大臣は、東アフリカ議会議員との会合の中で、ルワンダは平和であり、ルワンダ難民は現在では難民としての資格を満たさないため、ウガンダに滞在する14,000人のルワンダ難民を送還すると発表した(16日付デイリー・モニター紙)。これに対し、ウガンダ首相府は、22日付プレスリリースにおいて、「ウガンダが全てのルワンダ人の難民資格を失効させる又は締め出すとの報道は誤りである。ウガンダは、難民を彼らの生命や自由が迫害される可能性のある場所へ送還することを禁ずる国際難民法を認識している。」と説明した。
- 19日、ムカパ元タンザニア大統領は、ムセベニ大統領を往訪し、ブルンジ国民対話の仲介者としてそのプロセスに関するレポートを手交した。本国民対話は2015年に紛争にまで発展した政治的争いを終えるために様々な関係者が集まって同年12月に開始されたものである。ムセベニ大統領は、「ブルンジはすべての人のための治安及び保護を実現する新たな憲法を制定し、ブルンジ国民が自国に戻り平和に暮らせるようにすべきである。」と述べた。(21日付ニュー・ビジョン紙)
- 22日、ニビジラ・ブルンジ対外関係・国際協力大臣は、ムセベニ大統領を往訪し、ンクルンジザ・ブルンジ大統領の特別メッセージを手交した。ニビジラ大臣は、ンクルンジザ大統領及びブルンジ国民はブルンジに平和をもたらすためにムセベニ大統領が果たした役割に感謝し、困難なときも常にブルンジ国民に寄り添ってくれたと述べた。(23日付ニュー・ビジョン紙)
- 24日、ファルマージョ・ソマリア大統領はウガンダを訪問し、ソマリアの状況が著しく改善されていると喜びを表明し、AMISOMによる支援を評価した。また、同大統領は、9月にエチオピア及びエリトリアと締結した三者合意(包括的協力に関する共同宣言)が実施されており、これが3国の経済発展・アフリカの角の紛争解決の促進につながっていると述べた。ムセベニ大統領は、上記の三者合意は、これら地域の平和、安定及び繁栄を確保するための正しい一歩であり、自分は常にこれを支持してきたと述べた。(27日付ニュー・ビジョン紙)
- ウガンダは、タンザニアとの間の貿易に悪影響を及ぼすいくつかの案件について、タンザニアとの協議を9月から申し入れていたが、タンザニアは、ウガンダからの再三にわたる貿易問題に関する二国間協議の申し入れを無視している。チャンバツデ貿易産業相は、タンザニアと直接協議するためにタンザニアを訪問する予定である。(29日付デイリー・モニター紙)

#### 【経済】

- ウガンダからの輸出額は、2016/17年度の26.9億米ドルから、2017/18年度には28.9億米ドルにまで増加した。その輸出の半分以上は、COMESA地域に対するものである。COMESA内では、大部分がケニア及び南スーダンに対する輸出で、両国に対する輸出額は939百万米ドルに上る。COMESAに次いで、EUが2番目の輸出先で、これが569百万

米ドルである。中東地域がこれに次いで、414百万米ドルである。中でも、アラブ首長国連邦に対するものが、382百万米ドルである。(7日付ニュー・ビジョン紙)

- 米国のセントリー(the Sentry, 注:主にアフリカの紛争に関して研究する米国の団体)の報告書によると、ウガンダは、コンゴ(民)東部の紛争地帯から密売された金の主要な通過地点となっており、それらは米国や欧州に販売されている。セントリーによると、ウガンダの金の取引企業であるAGRの扱う大部分の金の出所がコンゴ(民)東部からのものであり、それらが正式な書類を有さず、また紛争に関連しないことを証明することが出来ないものである恐れがある。(11日付ニュー・ビジョン紙)
- ウガンダ鉄道会社(URC)によると、現在あるメートル軌間鉄道は、ウガンダが建設しようとしている23億米ドルにのぼる標準軌鉄道(SGR)と並んで維持補修されることとなる。URC関係者は、「(カンパラ東部の)ジンジャにおける路線が開通すれば、タンザニアのタンガ、ムワンザ及びダルエスサラームから貨物を受け取り、近年産業の中心となっている(ウガンダ東部の)トロロへ運ぶことが可能になる。」と述べた。(12日付ニュー・ビジョン紙)
- (ウガンダ中部の)ブジャガリ地域や(ウガンダ西部の)キレンベ地域は、フィンランドの地質調査で、ウガンダで最もコバルト開発の優位性を持つ地域であると評価された。これらの地域は、コンゴ(民)のコバルト鉱床と地質的に類似した特徴を有している。試算では、ウガンダのコバルト埋蔵量は550万トンである。(17日付サタデー・ビジョン紙)

#### 【経済協力】

- 8日、キソロ県の小学校で、マラク駐ウガンダ米国大使は、ムトウウゾ・ジェンダー・文化担当国務大臣と共に、ICAN(Integrated Community Agriculture and Nutrition)の活動の開始式を挙行した。これは、キゲジ、アチヨリ及びカラモジャ準地域の8県における貧困層の経済機会の拡充及び女性と子供の栄養改善を目的とした、5年間にわたる23百万米ドルのプロジェクトで、USAIDの資金供与によるものである。(12日付ニュー・ビジョン紙)
- ウェスト駐ウガンダ英国大使は、「ホイマ国際空港の建設に関し、ムセベニ大統領に来ていただいて、プロジェクトの起工式を執り行ってもらいたい。来年、インフラ・プロジェクトのために、英国輸出金融公社を通じて、潜在的には5億ポンドの資金供与を見込んでいる。石油プロジェクトが始まれば、英国政府は更に25億ポンドを石油関連のインフラ・プロジェクトに資金提供するだろう。」と述べた。(13日付ニュー・ビジョン紙)
- EUは、東アフリカ地域のコーヒー、カカオ、茶の増産のために、35百万ユーロの無償資金を供与した。ウガンダの割当は、そのうちの3.5百万ユーロで、小規模農家に資金提供される。EAC地域経済統合の重点分野に従って形成されたこのプロジェクトは、ケニア、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ及びブルンジにおいて、上記3つの作物を増産し、EU市場への参入を改善するために計画された。(22日付ニュー・ビジョン紙)
- 世銀からの150百万米ドルの資金協力を通じて、政府は、(ウガンダ南東部の)ナムトゥンバ(Namutumba)県の農家の必要経費の67%を支援する。このプロジェクトは、県内のコメ及び

トウモロコシを扱う農民グループを対象としたもので、電子バウチャーを使用するところが特徴である。これらの農民は、スマートフォンあるいはコンピュータ管理の手段を使って、種子、肥料、害虫防除製品及び農場の貯蔵施設を手に入れることが出来る。各々の農民は個人識別番号に従ってカードが支給される。(22日付ニュー・ビジョン紙)

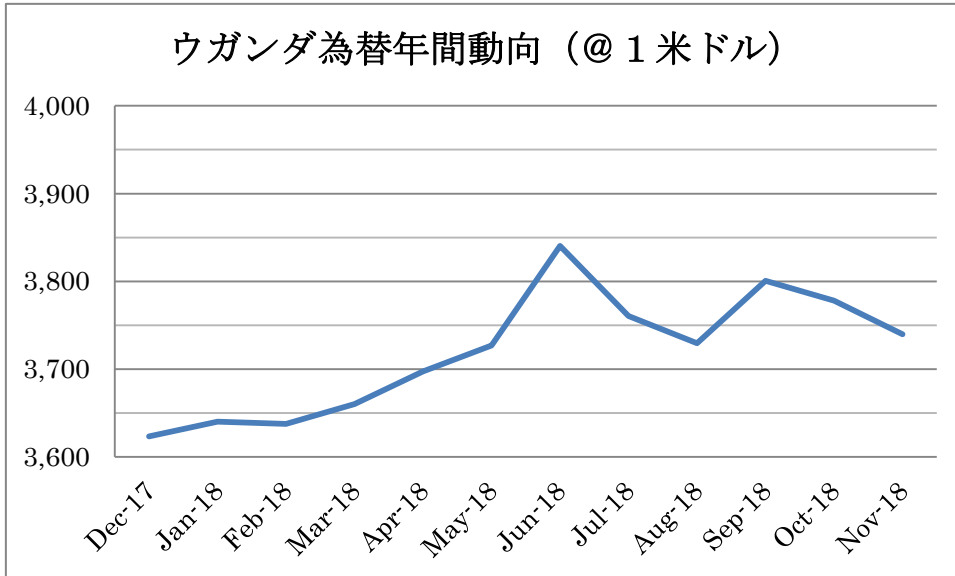
- 政府は、難民受入地域を支援するために、世銀から50百万米ドルの借款を得た。DRDIP (Development Response to Displacement Impacts Project)によって得たこの資金は、難民を受け入れている県及び地域における、基本的な社会サービスの利用状況を改善し、経済機会を拡大し、環境管理を向上させることとなる。DRDIPは、5年間のプロジェクトで、首相府の下で実施される。(23日付ニュー・ビジョン紙)

#### 【日・ウガンダ関係】

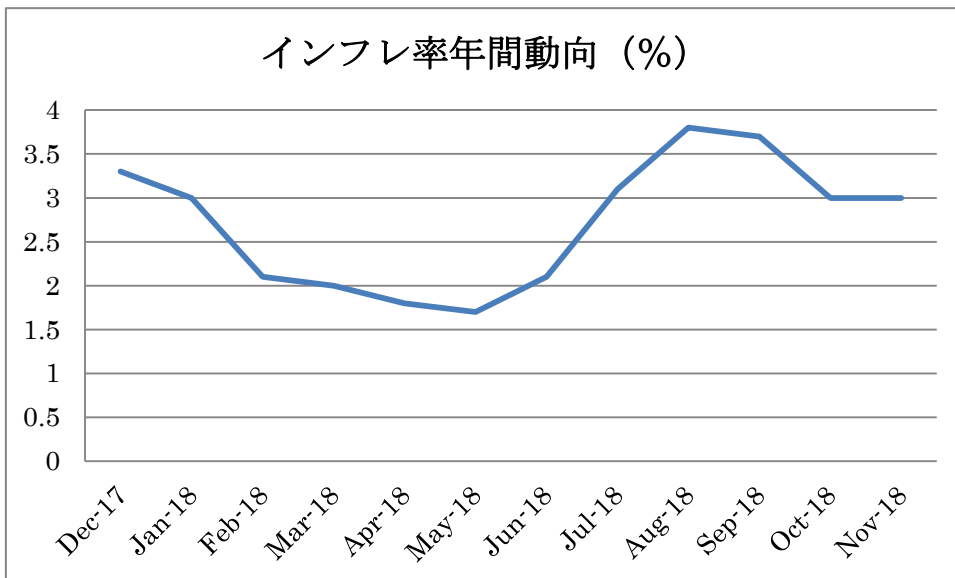
- 政府は、ウガンダ東部の灌漑整備のため、日本と約930億シリングの無償資金協力の交換公文等に署名した。アタリ流域灌漑整備により、年間5千トンのコメ生産が期待される。2020年までに灌漑整備が完工される予定である。(7日付ニュー・ビジョン紙)
- 日本NGO連携無償資金協力「ワキソ県北部における多目的協同組合(4組合)の能力強化」の開幕式に出席したワスワ県次席行政官は、プロジェクトを実施するハンガー・フリー・ワールドの活動を褒めたたえ、本件は生計の改革を目指すというウガンダ政府の呼びかけに応えるものであると述べた。(15日付ニュー・ビジョン紙)

(別紙)2018年11月主要経済指標(ウガンダ中央銀行)

・ウガンダ・シリング為替相場@1米ドル:3,739.7シリング(前月3,778.0シリング)



・インフレ率(前期比年率):3.0%(前月3.0%)



・政策金利: 10. 0%(前月: 10. 0%)

